

U.S. Indicators

発表日: 2021年10月6日(水)

米国 9月ISM非製造業は予想に反して上昇

～供給制約がより強まるもとで需要は好調維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (TEL: 03-5221-5001)

21年9月のISM非製造業景気指数(総合、季節調整値)は、61.9(前月61.7)と市場予想中央値の59.9への低下に反して前月比+0.2%p上昇し、高い水準を維持した。感染力の強いデルタ株による感染拡大のほか、供給制約など多くの逆風を受けながらも、行動制限の緩和等を背景に、非製造業部門は好調さを維持している。企業からの報告では、引き続き需要が強いなか、人材不足、サプライチェーンの混乱、物資不足、インフレ、物流の問題が制約となっていると指摘されており、供給制約解消の兆しは依然としてみられない。

9月は18業種中17業種が拡大した(8月17業種)。拡大した業種では、強い順に小売業、芸術・娯楽・レクリエーション、企業向けサービス、教育サービス、運輸・倉庫、不動産業、宿泊・飲食サービス、建設業、鉱業、専門・科学・技術サービス、その他サービス、情報産業、医療・社会支援、公益、公的部門、卸売業、金融・保険となった(下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す)。縮小した業種は、農林水産業の1業種に限られた(8月1業種)。

非製造業総合指数の構成項目では、入荷遅延が68.8(前月69.6、前月比▲0.8%p)、雇用が53.0(前月53.7、前月比▲0.7%p)と低下したが、活動指数が62.3(前月60.1、前月比+2.2%p)、新規受注が63.5(前月63.2、前月比+0.3%p)と上昇し高い水準を維持した。総合指数への寄与度では、入荷遅延が前月比▲0.20%p、雇用が前月比▲0.18%pの押し下げ寄与となった一方、活動指数が前月比+0.55%p、新規受注が前月比+0.07%pの押し上げ寄与となった。

サブ項目では、世界的な景気回復によって新規輸出受注が59.5(前月60.6、前月比▲1.1%p)と高い水準を維持し、米国輸出の拡大継続が示された。他方、インフレ環境では、ロジスティクスサービス、海上貨物、貨物、食品・飲料、電子部品、銅製品、金属製品、鉄鋼製品、プラスチック製品、ガソリン、労働コスト等の上昇により、価格指数が77.5(前月75.4)と高い水準にとどまっており、価格上昇圧力の強い状況を示している。

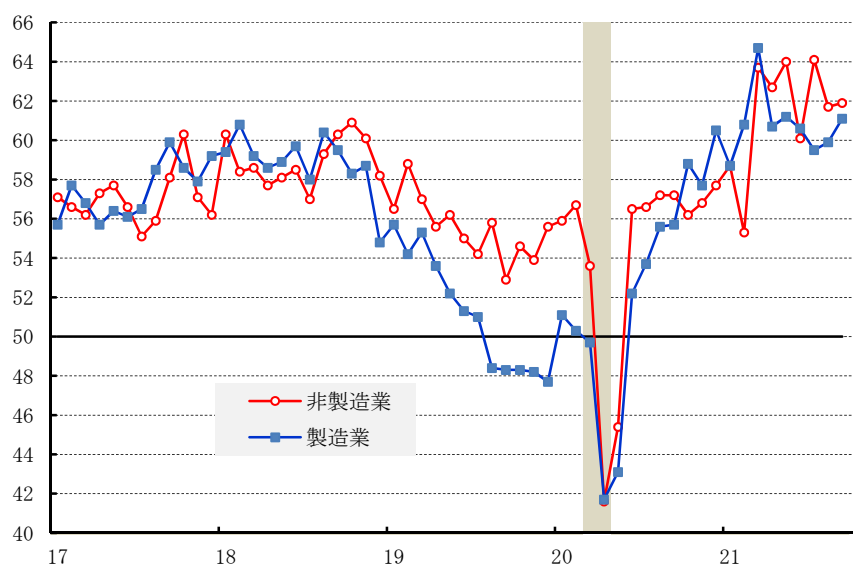
米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数(非製造業景気指数と製造業景気指数の合成)」は、9月に61.8(8月61.5)と0.3%p上昇し高い水準を維持した。ただし、7-9月期平均では62.3と、4-6月期平均の62.1(1-3月期59.5)から小幅上昇にとどまっており、7-9月期の実質GDPが4-6月期の前期比年率+6.7%から減速していることを示唆している。

I S M非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	在庫変動
20/11	56.8	59.6	59.0	51.5	57.1	50.7	63.9	50.4	49.3
20/12	57.7	60.5	58.6	48.7	62.8	48.7	64.4	57.3	58.2
21/01	58.7	59.9	61.8	55.2	57.8	50.9	64.2	47.0	49.2
21/02	55.3	55.5	51.9	52.7	60.8	55.2	71.8	57.6	58.9
21/03	63.7	69.4	67.2	57.2	61.0	50.2	74.0	55.5	54.0
21/04	62.7	62.7	63.2	58.8	66.1	55.7	76.8	58.6	49.1
21/05	64.0	66.2	63.9	55.3	70.4	61.1	80.6	60.0	51.5
21/06	60.1	60.4	62.1	49.3	68.5	65.8	79.5	50.7	49.9
21/07	64.1	67.0	63.7	53.8	72.0	63.5	82.3	65.8	49.2
21/08	61.7	60.1	63.2	53.7	69.6	61.3	75.4	60.6	46.9
21/09	61.9	62.3	63.5	53.0	68.8	61.9	77.5	59.5	46.1

(出所) I S M

I S M景気指数の推移



(出所) I S M(注) シャド一部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

